

PaylessGate 株式会社

所在地 大阪府大阪市北区角田町 1-12
阪急ファイブアネックスビル 2F
事業内容 ハンズフリー認証決済システム開発
TEL 06-7777-1875

ウォークスルーの本人認証システム

Bluetooth を利用し、スマートフォンをかばんに入れたまま、受付を通り過ぎるだけでチェックインができる本人認証システムアプリ「瞬間楽入」を開発。2025 年開催予定の万博での実装化を目指す。

沿革

◆ 創業者の経歴



代表取締役の足立安比古氏は京都大学で物理学・宇宙物理学を専攻。学生時代にベンチャー2社設立の経験を持つ。ペンシルベニア州立大学の客員研究員として超音波を研究し、国際学会で

発表した実績も有する。

大学卒業後はパナソニック（株）本社直轄研究部門にて研究者として勤務。部署共同分も含め5年間で50件の特許を出願している。研究所ではAIやIoT、光コンピュータなどの研究を通じ、自身での社会貢献を考え2018年6月当社を設立した。

取材時には非常に理知的で、落ち着いた雰囲気の影響を受けた。

◆ 起業に至る経緯

思春期にありがちな「生きている意味って何だろうか」ということを考えた時期があり、「とりあえず、何かを考え続けよう」との考えに至り、極力ぼんやりすることを無くそうとしたという。こうした考えを進めるなかで「次の世代を創ることが社会をつくることだ」との考えに至り、学生時代から起業した経緯がある。

◆ 事業にかける思い

ハンズフリー・タッチレス・シームレスな社会実現を目的とし、既にある非接触型の各種認証サービスを一歩進め、完全なウォークスルー社会を目指している。

特徴・強み

◆ ビジネスモデルとその特徴

【瞬間楽入-イベント受付が瞬時に完了-】

製品概要とコンセプト

PaylessGate
Create next generation

スマホを取り出さずに受付ができる
完全デジタルな簡単受付システム

参加者側スマホ
スリープ中のスマホを近づけるだけで
主催者用アプリに近い順に名前が表示

主催者側スマホ
スリープ中のスマホを近づけるだけで
主催者用アプリに近い順に名前が表示

- 60名以上参加のイベントなどで受付を2人以上用意し紙でのイベント受付を行っている主催者が対象
- スリープ中のスマホ個体の認証可能な新技術で、来場者はスマホを受付で取出す事なく高速で受付可能
- 主催者は名前を確認するだけで数秒で受付処理が完了するため、密を避け、受付人数を半減できます
- 受付人数を半減できるため、一回分の人件費減相当のアプリ使用料で月内何度でも利用できます
- 完全デジタルでのスマホ個体認証のため、グローバル問題である転売やなりすましを防止可能

【受付アプリ】



【参加者用アプリ】



足立氏が前職時代に培ったノウハウ・人脈を背景として大手企業との共同研究を推進し、イベント受付システム「瞬間楽入」を開発した。

特色は世界的に普及しているBluetooth(デジタル機器用の近距離無線通信規格)を利用し、事前にアプリ登録するのみで入口での受付業務を無くすシームレス・タッチレスシステム。例えば、駅の改札機で、時々詰まる人がいたり、逆に自分が詰まらせたりすることがあるが、こうして多くの人がロスしている時間は年間にするに相当な時間になる。そのようなロスがない社会を創りたいと考え、「瞬間楽入」を開発したとされる。

「瞬間楽入」に使用される特許は国内においては申請済、海外 27 か国においても申請中である。

◆ 強み・アピールポイント

現在リリースしているアプリ「瞬間楽入」は登録した会員だけに適用されるサービスで、ハンズフリー・タッチレス分野に於いて認証部分のみを抽出したものである。展示会などのイベントの受付は開始直前に混み出すことが多いが、こうした受付業務を少人数でオペレーションすることが可能となる。

また、既に世界中に普及している通信インフラのBluetoothを利用するため、汎用性が高く、導入コストも抑制できる点が強みとなっている。

将来展望

◆ 今後の事業展開

5 年後、10 年後の目標とする到達点やロールモデル

「瞬間楽入」はサークル活動や習い事の発表会など、小規模なイベントにおいても活用することが可能であるほか、将来的にはコンサート会場、貸会議室などでのビジネスイベント、ホテル、結婚式等のロケーションにおける利用を想定している。

2020 年 3 月にベータ版(サンプルのソフトウェア)をリリース。現在は 100 名程度でのモデルリリースを想定しており、2021 年初頭より本格的なサービス展開を予定している。

売上計画としては、2020 年 3 月期の売上計上はわずかな見込みであるが、2025 年 3 月期に 25

億 3,400 万円を計画。また、収益についても、2025 年 3 月期に黒字化を達成し、上場を目指している。

大阪市で開催予定の万博向けの製品自体は、2023 年春先までには開発を終え、2024 年中に実証実験を行い、2025 年に実装したいとの意向。万博では 2 分半毎に地下鉄から 1,000 人近くの方が降車するが、そうした多数の来場客に対応できる製品に仕上げたいと考えている。

◆ 今後新たに開発したい商材・サービス

拡充したい販路(ターゲット層)

将来的には「認証機能」と「決済機能」を組み合わせることで社会インフラに実装させることを目指しており、鉄道会社やコンビニなどをターゲットとして想定している。既に鉄道会社などの大企業に対してはアプローチしており、一部開発を進めている。

PR 事項

◆ 提供サービスにおける PR 事項

既存インフラである Bluetooth を利用することで初期導入コストを抑えることができる。さらに、各個人が所有するスマートデバイスに登録し、大学の出欠・企業の出退勤などに利用することで、なりすまし防止やコンサートチケットの転売防止等にも応用できるなど、活用方法は多岐にわたり、将来性の高いビジネスモデルといえる。

会社概要

設立：2018 年 6 月
資本金：850 千円
従業員数：3 人
URL：<https://corp.paylessgate.com/>
主力サービス開始時期：2020 年 3 月